

働

人の思いが

重なって

大きな大きな力になる。

『10年後の彼を見つめた就労支援』

～未来への下ごしらえ～

“働くということ”

私たちは毎日たくさん働きたいと出会う。その「働きたい」思いには色んな意味がぎっしり。家族への愛や自分のヘタクソや我慢したい気持ち。稼いだお金で居酒屋へ・・・彼らの「働きたい」と出会う度、「働くこと」が持つ力の大きさに驚き、学ぶ。また「働くこと」は単なる作業ではなく、生きる力を育むステージ。そんなステージに立つ姿は、誰もが真剣、誰もがカッコイイ、誰もがほんまもん。輝く場所がここにある。

Tekito-

『 Tekitoー 』

Tekitoー

生活、就労・・・全てその人の24時間の中に存在するもの。

だからライフスタイルはその人のもの。

だったら、そのスタイルがその方にとってちょうど適当である方が良い。

そして、そんな24時間の積み重ねの毎日に地域の風が通り過ぎその風を感じられるゆとりが持てるテキトーさが存在するならもっと良い・・・と思います。

〔 広辞苑 応援センター 〕

『働き・暮らし応援センター事業』

障害のある方の就労実現を行う為、多岐に渡る他機関との連携を含め必要な生活支援の実施と共に、障害者の就労ニーズと企業の雇用ニーズをマッチングさせ就労の促進を図る事を目的とし福祉圏域単位にて設置される事となった。

甲賀・大津・湖西・湖東・東近江・湖北・湖南の全ての福祉圏域に設置。
(平成18年4月～東近江圏域開始。)

【東近江圏域の障害者状況】

東近江圏域人口 218,349人

在宅障害者	10,587人
身体障害者	7,927人
知的障害者	1,272人
精神障害者	1,388人

『生活苦しいねん vs 働きたいねん』

【働き・暮らし応援センター“Tekito-” 利用状況】

利用者／875人（R3. 3月末現在）

障害状況		年齢層		生活スタイル	
身体	55人	15～19才	28人	グループホーム	29人
知的	425人	20～39才	547人	自宅（家族同居）	753人
精神	292人	40～59才	263人	自宅（独居）	80人
その他	103人	60才以上	37人	その他	13人

「働きたい」から始まる就労支援

「働きたいねん」の奥にあるもの・・・



『働きもん達』

働き暮らし事業

生活困窮者自立支援事業



障害が
はっきりしとる

障害者雇用枠に
入る

働ける状態に
ある

障害が
はっきりしとる

福祉制度が
使える

働ける状態に
ない

障害が不明

障害がない

ようわからん

『遠慮は要らん。配慮を下さい。』

就労相談：働くことを窓口生きていく事について共に考える。

企業開拓：企業にしか出来ん応援（見る・知る・選択する）

障害理解：課題は無いという視点。

生活支援：働く事は24hの中にある。

連携支援：人生のプロセスがほんまものの履歴書。

『就職を目標にしない。かっこええ大人を目指す。』

～ 働けるラインではなく、働き方。～

本人の働く条件=応援団の工夫
【一人ひとりの“得意”の発見】



働く力は生きる力や。

【働き続ける力に繋がる】

『TEAM 困救』

時代の流れと共に

地域の「困りごと」は見えづらく、そしていつの間にかそれは「諦めごと」になり始めている。

私たち‘働きもん’は、そんな地域の困りごとを救うチームである。

誰が困っても解決できる地域へ・・・

そんな事を目指す我らは・・・Team 困救

『地域を救う担い手はここに居る』



中途半端な輝ける場所

～ カッコつけて生きて行こう ～

『地域は生きるアイテムや』

～究極の軒下産業～

地元企業

広すぎる敷地の緑化管理
物流倉庫の荷運び作業
従業員駐車場の整備
フレハフ倉庫の解体

地域

個人庭の剪定
田んぼ畔草刈り
引っ越し手伝い

行政

図書館の緑化管理
アンケート封入作業

団体

自治会除草作業
イベント搬入作業
コピー用紙配達
パンフレット折り作業
商品梱包作業
リサイクル燃料製造

薪遊庭

薪割り作業
森林の循環

CHAKKA

地元資材究極のリサイクル作業



『 男前で溢れる地域へ 』

【TEAM困救】

ステージ	参加人数	企業卒業	ものがたり
百済寺	9人	2人	自信なし男子26歳。 年下男子にカッコつける。
葉刈り	16人	4人	60歳で久々に外に出たオッサン。 鎌の使い方を褒められ得意気。
薪割り	8人	4人	自分の力と気持ちの都合を掴み、 アルバイトへ飛び立った42歳。
プレハブ	5人	1人	養護学校卒業を隠して生きてきた男子。 今の自分の一番は作業所やと知る。
CHAKKA	15人	2人	虐められ、独りで生きて行くと決めていた 28歳。人の事を気にし始めた。
下請け	17人	1人	家族0、知り合い0、仕事リストウ。 手先の器用さを言われて気づいた女子。
その他	4人	1人	脳梗塞発症後、家族からは厄介者。 若者に声だけの監督になる。

『働く事に憧れる時間…』

ものがたいから学ぶ
～ 色々な意味で、地域の宝 ～

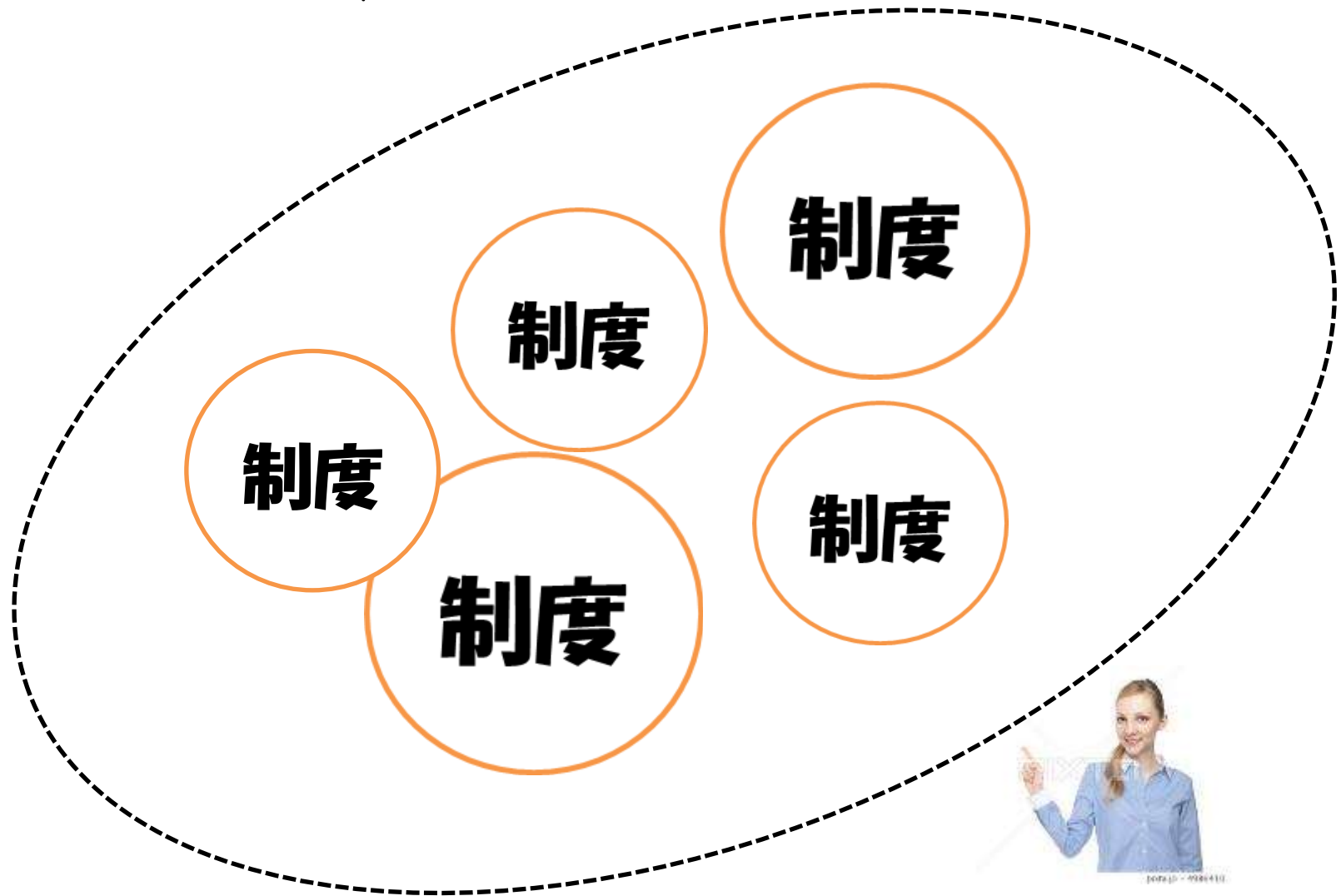


『10周年 パラダイス事業』

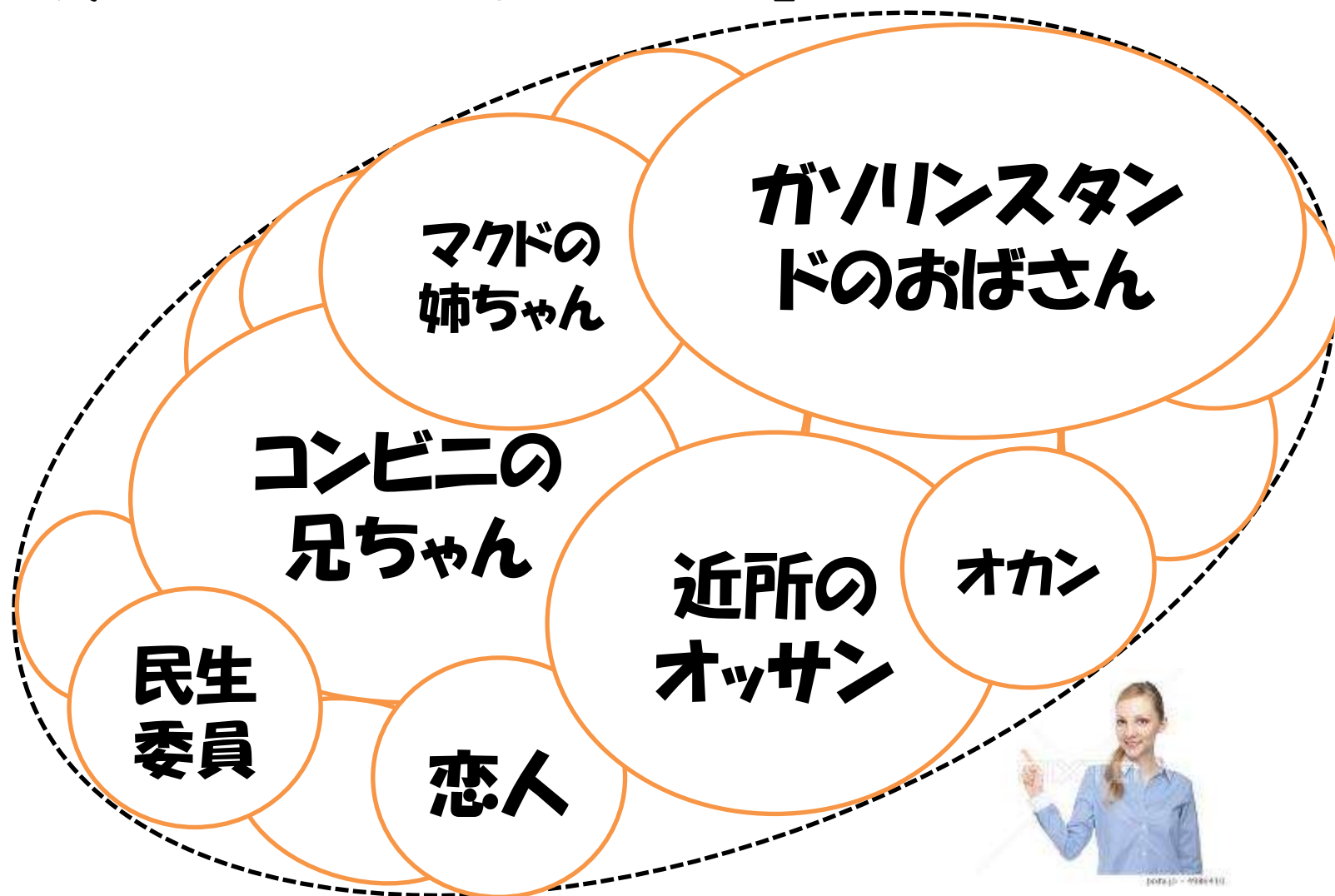
～24時間 BBQ～



『ゴミ屋敷は最先端の暮らし』



『寝ているもんも使う図々しさ』



『引きこまれるという力』

今までも、これからも、
人生にミスは無し。

